

8月新着図書

おひとり3冊まで、2週間（新着本は1週間）借りられます。

サンショウウオの四十九

著者名：朝比奈秋／著

類白（ほおじろ）高校に通う射守矢真兎（いもりや・ま）は勝負事に強い女子高生。文化祭の屋上使用権を賭けて、罾の仕掛けられた階段を上ったり（「地雷グリコ」）、かるた部の窮地を救うため、百人一首の札を用いる神経衰弱に挑んだり（「坊主衰弱」）。風変わりなゲームに巻き込まれ続ける彼女の運命と勝負の行方はー？ ミステリ界の旗手が仕掛ける本格頭脳バトル小説、全5篇！

われは熊楠

著者名：岩井圭也／著

慶応3年、南方熊楠は和歌山に生まれた。人並外れた好奇心で少年は山野を駆け巡り、動植物や昆虫を採集。百科事典を抜き書きしては、その内容を誦んじる。洋の東西を問わずあらゆる学問に手を伸ばし、広大無辺の自然と万巻の書物を教師とした。希みは学問で身をたてること、そしてこの世の全てを知り尽くすこと。しかし、商人の父にその想いはなかなか届かない。父の反対をおしきってアメリカ、イギリスなど、海を渡り学問を続けるも、在野を貫く熊楠の研究はなかなか陽の目を見ることがないのだった。世に認められぬ苦悩と困窮、家族との軋轢、学者としての栄光と最愛の息子との別離……。かつてない熊楠像で綴る、エモーショナルな歴史小説。

六月のぶりぶりぎっちょう

著者名：万城目学／著

新直木賞作家、日本史最大のミステリ——「本能寺の変」に挑む 奇妙、珍妙、でも感動！ マキメ・ワールド最高潮！！ その死体は信長——密室殺人事件に巻き込まれた私は、うっかり本能寺の変の謎に挑んでしまう……。洛中女子寮ライフ——14回生以上との噂のある、女子寮の“お局様”の正体は！？ 京都の摩訶不思議を詰め込んだ「静」と「動」の2篇

百年の孤独

著者名：G. ガルシア=マルケス／〔著〕 鼓直／訳

蜃気楼の村マコンドを開墾しながら、愛なき世界を生きる孤独な一族、その百年の物語。錬金術に魅了される家長。いどこでもある妻とその子供たち。そしてどこからか到来する文明の印……。目も眩むような不思議な出来事が延々と続くが、予言者が羊皮紙に書き残した謎が解読された時、一族の波乱に満ちた歴史は劇的な最後を迎えるのだった。世界的ベストセラーとなった20世紀文学屈指の傑作。



日野南コミュニティハウス

ツミデミック

著者名：一穂ミチ／著

大学を中退し、夜の街で客引きのバイトをしている優斗。ある日、バイト中に話しかけてきた大阪弁の女は、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗ったがー「違う羽の鳥」 失業中で家に籠もりがちな恭一。ある日小一の息子・隼が遊びから帰ってくると、聖徳太子の描かれた旧一万円札を持っていた。近隣の一軒家に住む老人にもらったというそれをたばこ代に使ってしまった恭一だがー鮮烈なる”犯罪” 小説全6話



実は、拙者は。

著者名：白蔵盈太／著

深川佐賀町の裏店に住まう棒手振りの八五郎は、平凡かつ地味な男。人並み外れた影の薄さが悩みの種だが、独り身ゆえの気楽な貧乏暮らしを謳歌している。そんな八五郎は、ある夜、巷で噂の幽霊剣士「鳴かせの一柳斎」が旗本を襲う場に出くわす。物陰から固唾を呑んで闘いを見守る八五郎だが、一柳斎の正体が、隣の部屋に住まう浪人の雲井源次郎だと気づきー。影と秘密は江戸の華！？ 期待の新鋭が贈る、書き下ろし傑作時代小説。

暗殺

著者名：柴田哲孝／著

奈良県で元内閣総理大臣が撃たれ、死亡した。その場で取り押さえられたのは41歳の男性。男は手製の銃で背後から被害者を強襲。犯行の動機として、元総理とある宗教団体との繋がりを主張した。日本史上最長政権を築いた元総理の殺害という前代未聞の凶行。しかし、この事件では多くの疑問点が見逃されていた。致命傷を与えた銃弾が、未だに見つかっていない。被害者の体からは、容疑者が放ったのとは逆方向から撃たれた銃創が見つかった。そして、警察の現場検証は事件発生から5日後まで行われなかった。警察は何を隠しているのか？ 真犯人は誰だ？ 35年前に起きたある未解決事件との繋がりが見えた時、全ての陰謀は白日の下に晒される。日本を震撼させた実際の事件をモチーフに膨大な取材で描く、傑作サスペンス。